

新たな一步を踏み出すために

就職支援

プログラム

個別相談

40分

予約制

相談時間

10:00 ▶ 16:00

(月～金)

3か月以内の就職を目指しませんか

離職から早い時期に就職活動を始めるのが有利です。

- ✓ 第一印象をアップさせる応募書類の書き方
- ✓ 内定につなげる面接対策のポイント

ポイントをつかんで早期再就職を目指そう！

自己分析

あなたが企業にアピールできる強みや長所は何だろう。一緒に見つけて就職活動に生かしていきましょう！

適職診断

自分に合う仕事がわからない……。適性や興味を分析し、就職活動の方向性に役立てます。

求人選び

豊富なハローワーク求人から希望条件にあったものを探すお手伝いをします。企業へ質問や連絡をいたします。

応募書類作成

履歴書・職務経歴書等の応募書類作成支援。人事担当者に伝わる書類を作り上げていきましょう。

面接対策

応募に向けての本格的な模擬面接ができます。客観的に自分を見つめ直し、本番に備えましょう！

ご予約
問い合わせ

ハローワーク たつの 担当：就職支援ナビゲーター

Tel. 0791-68-2430

※個々の状況に合わせて就職活動をお手伝いします。

仕事に関するお役立ち情報を
発信いたします！

友だち登録
お待ちしております！



スキルを活かし輝く未来へ

再就職
手当を活用
しよう！

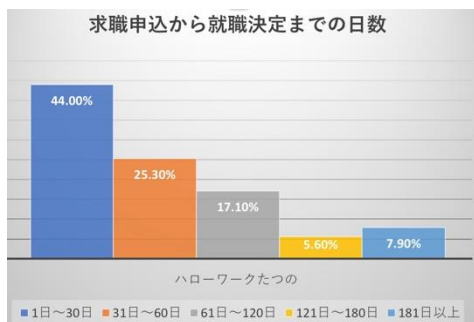
早期の再就職を オススメしています

ポイント

就職にはタイミングが重要です

ポイント

ハローワークたつのでは、全体の約7割の方が求職申込から60日以内に就職されています。



ポイント

早期に再就職をして、再就職手当を活用した場合と、基本手当を支給終了まで受給した場合とでは、得られる金額に大きな差が生じます。

例

【所定給付日数90日 基本手当日額4,000円の方が、30日分受給し(残日数60日) 就職した場合(就職先の月給 18万円)】

再就職手当の計算方法

基本手当日額4,000円 × (支給残日数60日 × 70%)
= 168,000円

30日分の失業給付金120,000円 + 再就職手当168,000円 + 2か月分の月給360,000円
= **648,000円**

【基本手当をすべて受給した場合】

給付日数90日 × 基本手当日額4,000円
= 360,000円

差額
288,000円

ポイント

失業期間が長期化すると以下のようなデメリットがあります。

- ・ 社会保険料の自己負担額増加等の経済問題
- ・ 働くことに対するモチベーション、仕事のスキルの低下
- ・ 生活のリズムが崩れる
- ・ 面接時にブランク期間の説明を求められる
- ・ 企業の印象悪化

就職支援プログラム 予約制 3か月以内の再就職を目指します。

ハローワークの専任担当者がマンツーマンでサポートします。

お申し込みは、ハローワークたつの 就職支援ナビゲーターへ

TEL 0791-68-2430